

# 学ぶ権利 すべての子ども 守りたい

神奈川県横浜市 21 歳  
萩原 知嘉

## 《作品について》

学ぶ権利というのは、すべての子どもに与えられるべき当然の権利であると思います。自分自身の成長や能力を高める事、学ぶことに必要なものを求める権利というのは誰にでも平等にあってそれを行行使することは決していけないことではありません。自分の国や家庭が貧しいから、性別が女性だからといった理由で学ぶことができない世界中の子どもたちを一人でも多く減らしていきたい、そんな大切な権利を守っていききたいと考えました。特に、女性だからといった理由で幼くして結婚し、学校に通えないといった事例もまだまだ耳にします。性別関係なく全ての子どもの未来や成長の為に私たちに出来ることはまだまだ少ないですが、考えることは自由なので私自身も考え続けていきたいです。そしていつか、その考えを行動に移せるように私自身もなっていけたらいいなと思います。

温暖化

地球の涙

国沈む

神奈川県逗子市 43 歳  
萩原 美奈子

《作品について》

温暖化で海面上昇は地球が泣いてるように感じ、私たちの未来の為に一人一人が  
自覚して生きていくという気持ちを込めました。

# クジラのね おなかの中は ゴミだらけ

神奈川県逗子市 小学5年  
橋本 珠々奈

《作品について》

# 人助け なぜか自分に いい事だらけ

群馬県太田市 中学3年  
長谷川 琴音

## 《作品について》

私は、小さい頃人に褒められるのが好きで色々なお手伝いをしていました。その時母に、「いいことをすると必ず返ってくるから続けるといいよ」と言われ、訳もわからず守ってきましたが、今となっては私が協力をお願いすると以前お手伝いした人が「あの時のお返しね」と言って協力してくれているときずきました。だから、SDGs も誰かのための活動ではあるけど、巡り巡って自分にもいいことがあると伝えたいです。

# これから ダイバーシティの 世の中だ

神奈川県川崎市 30 歳  
畠 はづき

## 《作品について》

昨今、多様性について表に立って発信してくれたり、ジェンダーレスであることを公表したりする芸能人やクリエイターが以前よりも増えたと感じています。私は、発信してくれる人たちのおかげで、多様性に関する意識が私自身に根付いたと思っています。日本はまだ受け入れ態勢が整っていない気がするので、性別にとらわれず、世間の目を気にせずに、どんな人でも平等に、且つ安心して暮らすことができる世の中になってほしいと考えます。

# 食品ロス 削減するのは 私たち

神奈川県逗子市 小学5年  
畠中 理紗

《作品について》

# のこりもの みんなであべる ごみがへる

神奈川県逗子市 小学5年  
初芝 瑠杏

《作品について》

# 無課金で 出来るアクション 歩きます

東京都練馬区 57 歳  
花井 美智子

《作品について》

楽をしたくて、すぐに車やタクシーを使ってしまうですが、エネルギーを大切に使うためにも、地球温暖化をふせぐためにも、歩くことを心がけたいと思います。

# 普通とは みんな違うよ 個性だね

神奈川県横浜市 22 歳  
花岡 菜月

## 《作品について》

日本に限らず世界で人種差別や、障がい者差別が耐えることはありません。人によって「普通」という概念が違う為、自分からみた「普通」から離れている人間を差別してしまうからだと思います。肌の色が違っても、中身は同じ人間であり、また障がいを持って生まれてきても、個性を持っているだけであって、同じ人間です。近年ジェンダーレスの環境がかなり布教してきたと思います。小学生ではランドセルの色、中学校や高校では制服、大人は髪型やメイクなど、性別に囚われることなく、自由に自分を表現していると思います。それはネット社会が発達し、様々な情報が入ることで、それが「普通」になってきているからだと思います。「普通」はこうだなどの自分の概念に囚われず、相手の気持ちや個性について考え、支え合いながら生きていくことで、みんなが笑顔で生活することができると感じたため、この川柳を考えました。

# 戦争と 核の根絶 ラブアース

愛知県名古屋市 70 歳  
幅 茂

《作品について》

ノーベル平和賞で、核兵器禁止がことに話題です。日本政府の前向きな姿勢を願っています。

# ゴミひろい 地球の素顔 潤わす

東京都新宿区 56 歳  
早川 俊章

《作品について》

自分にも無理なくできるゴミひろいで、地球の素顔を潤わし、もっときれいで持続可能な姿にして未来につなげたい。

# 未来まで 明るくしてる LED

茨城県つくばみらい市 72歳  
早雲 直

《作品について》

LEDで節電！

# ウォームビス 増やして減らす 電気代

茨城県つくばみらい市 71 歳  
早雲 まち子

《作品について》

ウォームビスを増やして減らすことができる節電と電気代

# 何度でも 資源に命を リサイクル

神奈川県逗子市 68 歳  
林 是行

## 《作品について》

リサイクルの素晴らしさは、私たちが住む美しい星、地球の限りある資源を決して無駄にすることなく有効に活用し、再生できるものは何度でもリサイクルすることで、ものにも都度新たな命が吹きこまれ、人々の役に立つものに復活、生まれ変わることです。日常生活でリサイクル可能な資源を使い終わった時、正しいゴミの分別、再生できるものがあることを常に意識し、資源循環の大切さを理解した生活を送ることで、地球環境の保全に少しでも寄与したいと考えます。

# 森の恵み 笑顔繋ぐ 未来へと

栃木県宇都宮市 22 歳  
林 亮佑

## 《作品について》

「森の恵み 笑顔繋ぐ 未来へと」という俳句は、持続可能な未来を象徴しています。この俳句は、陸の豊かさ(目標 15)と健康と福祉(目標 3)という 2 つの SDGs 目標を取り入れています。自然の恵み、特に森の資源は、私たちの生活に多大な影響を与えています。森林は酸素を生み出し、二酸化炭素を吸収し、生物多様性を維持し、さらには人々の健康と福祉にも寄与します。私たちは、森の恩恵を受けることで、より健康で幸福な生活を送ることができ、未来の世代にもその恩恵を伝えることができます。この俳句には、人々が自然と共に生きることによって笑顔が広がり、次の世代へと続く持続可能な未来が描かれています。自然との共生を通じて、私たちの生活の質が向上し、全ての人々が健やかで幸福に暮らせる未来を目指す思いが込められています。

# 協力し ホットな心で クールダウン

神奈川県逗子市 小学5年  
原田 菜々美

《作品について》

# 平和的 誰も置き去り しない社会

神奈川県横浜市 小学4年  
原野 温

## 《作品について》

この川柳を作ろうと思ったのは、SDGs の 16 番の平和と公正をすべての人にとっての目標から思いつきました。以前、法律のドラマを見たことがあり、その番組の中で、一番心に残った言葉は、「誰も置き去りにはしない」という言葉でした。だから、川柳の中にもこの言葉を入れたいと思いました。そして、もし誰かを置き去りにして差別やいじめ、不満を言うことがあると、このような気持ちが戦争などのきっかけにもなるのではないかなと思ったからです。SDGs の目標にも、「誰一人取り残さない」というテーマがあるので、この番組の言葉と共通するなと思いました。これからは、平和とは何かということを自分で考えて、行動したいです。僕ができることは、いじめをしないとか、いじめになりそうな場面を止めるとかそういうことから始めていきたいです。

# 海之力 未来のエネを 生み出そう

神奈川県横浜市 27 歳  
原野 俊吾

## 《作品について》

海を利用した再生可能エネルギーは、気候変動に対処するための重要な手段であり、未来のエネルギー供給に大きく寄与します。海で働いていて風力発電や潮汐発電の可能性を感じ、この川柳を思いつきました。

# がんばろう みんなで海の ゴミ拾い

神奈川県逗子市 小学5年  
春木 神門

《作品について》

# 手を取って 平和を願う これからも

東京都江東区 27 歳  
日景 芽生

## 《作品について》

海外での戦争のニュースや、第二次世界大戦の事を知った際に 2 度と戦争は起こってはならないと思い考えました。第三次世界大戦もいつ起こるか分からない情勢ですが、国民が平和に生きていける未来がこれからも続きますように…。

# 真夏でも エアコンいらぬ 親父ギャグ

鹿児島県鹿児島市 70 歳  
肥後 幸男

《作品について》

少しでも笑い合いながら、節電に取り組んで行けたらとの思い。

# ポイ捨てが 与える影響 考えよう

埼玉県川越市 24 歳  
平澤 春奈

## 《作品について》

「まあいいや」という軽い気持ちでゴミをポイ捨てすることで、その場にゴミが溜まるだけではなく、海に流れつき生き物たちへの影響が大きく出てしまいます。たった一つの小さなゴミを捨てるだけ、その軽率な行動が巡り巡って自分たちの生きている環境をこわすことに繋がるということを自覚し、ポイ捨てはしないことはもちろん、捨ててあるゴミを拾うことを心がけて生活していきます。

# 食べ物を 残さず食べて ロスなくす

神奈川県鎌倉市 63 歳  
平野 耕生

## 《作品について》

先進国のフードロス(消費期限切れの食品廃棄)は、しいては資源の浪費にもつながっている。1頭の肉牛を生産するためには、大量の飼料(穀類)を必要とし、地球環境にもよくない。せっかくの肉を捨てることなく無駄なくきちんと食べることが、消費者の責務といえる。

# 人助け 社会で支える 意味がある

神奈川県鎌倉市 26 歳  
平野 陸

## 《作品について》

白血病の患者さんを助けるための骨髄バンクにドナー登録 → 適合し骨髄を提供できる機会が巡ってきたのに、会社で休みを取れず断念するケースが多くあるという話を耳にした。全国の会社にドナー休暇制度を導入できれば、それだけ助かる患者さんが増える。これはあくまで一例で、社会全体で医療福祉へのハードルを低くしていけたらと思う。

# はだのいろ ちがってバンザイ みなおなじ

東京都渋谷区 小学2年  
平林 樹

《作品について》

はだのいろ、かみのいろ、ちがってもみなおなじ、平和でびょうどうな社会になってほしいです。

# そびえたつ 富士より高い ゴミの山

東京都渋谷区 38 歳  
平林 雅子

《作品について》

年間のゴミ排出量は、富士山の高さを超えるといいます。豊かな自然の美しさ、を守っていきたいです。

# ゴミと呼ぶ 資源はこの世に ひとつもなし

東京都渋谷区 38 歳  
平林 真彦

《作品について》

限られた資源を大切に使うことを認識してほしいため。

# ゴミ袋 なるべく溜めて 処分する

神奈川県横須賀市 43 歳  
平山 淳司

## 《作品について》

ゴミを処分する時はなるべくゴミ袋が一杯になる様にしています。ゴミ袋が有料になった事もありますが回収員さんもゴミ袋の数が減って楽だと思います。勿論、分別はしっかりした上で捨てます。

# コンセント 不要の時は 抜いて

神奈川県逗子市 69 歳  
平山 由紀子

《作品について》

ひとりひとりが小さな節電でも、結果的に大きな努力となって、世界の温暖化対策になる。

# ウォームビズ ペットもそろいの ハイネック

滋賀県守山市 64 歳  
廣木 信子

## 《作品について》

我が家でできる地球温暖化対策のひとつとして、暖房利用による CO2 の削減をするという行動を作品にしました。

# ごみ拾い みんなで守ろう 海のまち

神奈川県逗子市 小学5年  
廣田 夏希

《作品について》

# もう満腹で 持ち帰り容器に 家族大満足

東京都豊島区 65 歳  
福島 昇

《作品について》

限りある資源、フードロスを少しでも無くす努力を。

# 生物も 僕ら次第で 長生きに

埼玉県入間郡毛呂山町 24 歳  
福田 愛

## 《作品について》

海の綺麗さは、海に生息している生物の過ごしやすさに直結していると思っています。以前、沖縄の島に旅行に行った際に、海の中で泳いでいるウミガメをみたことがあります。これは、関東の海では絶対に見られない光景で、ウミガメ以外の生物たちもとても生き生きとしていました。このような光景が見られるのも海が綺麗で、生物たちが生きやすい環境があるからこそだと思います。関東の海でもたくさんの生物たちが過ごせるよう、まずは海にごみを捨てないように心がけるという、ちょっとしたところから変えていきたいと思っています。

# 貫こう 自分の色を 大切に

東京都立川市 21 歳  
福山 波美

《作品について》

みんなが生きやすい世の中にする為に自分にしか出せない個性を貫き通して欲しいという想いを込めてこの川柳を考えました。

# 期限切れ 病は気からと 妻食べる

東京都中野区 50 歳  
藤井 修

《作品について》

賞味期限と消費期限の違いを理解して、食品ロスにつなげないようにとの思いです。

# 青い海

## 未来のために

## 脱プラスチック

神奈川県逗子市 42 歳

藤井 友美

### 《作品について》

逗子市に住んでおり、綺麗な海の環境を守りたいと思っています。環境を守り続けるためには、自分自身だけでなく、自分の子供に教える意味でも子供と一緒に、身の回りのことから意識して取り組んでいきたいという想いを込めました。

# 建物の 古さか歴史かは 自分次第

東京都荒川区 41 歳  
藤本 悠介

## 《作品について》

世界中に歴史的な建造物がある中で、それを保とうとすることはその時代時代の中で生きる人々の気持ちや考え方次第。私達が働いてきた施設も 75 年を迎える中で、ここまで施設を保てたことは先代達が築き上げてきた古き良きものを大切にする文化があつてこそ。それを僕らの世代が引き継いで未来に繋がっていくのだと感じています。施設に限らず、形あるものは全て使う人によって保たれていく。活かすも殺すも自分達次第であり、磨き上げという文化によって建物の寿命は変わっていく一つの実例だと考え作りました。

# 青い海

## 綺麗を今度は

## 繋ぐ番

神奈川県三浦郡葉山町 25 歳

藤本 諒

### 《作品について》

いつも子どもたちに海の綺麗さや美しさを、海遊びを通して教えています。楽しく海で遊ぶためには、綺麗な海が必要であること。そのことを私も幼少期に学んだので、今は次世代に伝える番が来たなと思い活動しています。

# 余り物 端材も全て 可能性

神奈川県鎌倉市 32 歳  
藤原 建太

## 《作品について》

メニュー変更等で使わなくなった食材、綺麗に切り揃えるために確実に出てきてしまう野菜の端材、玉ねぎや人参の皮、全てに可能性があります。そのままでは、玉ねぎの皮だけではスペシャリテにはなれませんが、それらを集めて丁寧に処理し、出汁を引くなどすれば素晴らしい料理の一部と成り得ます。調理の構造上必ず出てきてしまう端材の問題ですが、作り手としての責任、一次産業を担う方へのリスペクトを持って、お客様が残されることのないような料理を作り、「最高の料理を最高のサービスで」をモットーに日々努めていきたいと思っています。

# 食べること それがふつうじゃ ない国も

神奈川県逗子市 小学5年  
藤原 史智

《作品について》

# エゴイズム みんなのために エコイズム

北海道函館市 49 歳  
札内 隆

## 《作品について》

自己的、利己的な言葉で解されるエコイズム。一文字変えるだけでエコを推す言葉になることに気づき、応募させていただきました。

# エアコンは なるべくけそう みんなのため

神奈川県逗子市 小学5年  
船山 楓莉

《作品について》

# あたりまえ 見れる生き物 滅えるかも

神奈川県逗子市 小学5年  
船山 美波

《作品について》

# 海の中 ゴミ箱じゃない 捨てちゃだめ

神奈川県綾瀬市 小学5年  
古郡 七紗

## 《作品について》

人間が捨てたゴミを食べようとして、体や口に引っかかって死んでしまう魚はたくさんいます。ゴミが引っかかったことにおこった魚達が外国の海へ行ってしまうと、日本から魚がだんだんといなくなってしまうので、『ゴミはゴミ箱へ』とあらためて思いました。

# 青い空

## あのころは青

## 今は赤

神奈川県逗子市 小学 6 年  
古坂 龍誠

《作品について》

みんなの地球、みんなの青い空、青い海を守り続けていきたい。

# その行動 セコじゃないよ エコですよ

神奈川県三浦郡葉山町 中学1年  
古田 智奈彌

## 《作品について》

最近、SDGs が世界に広がり「もったいない」や同じものを何年も繰り返して使うなどの、「セコ」といわれていた行動が「エコ(eco)」に変わって、マイナスだったイメージが同じ行動でも、プラスのイメージになってきたので、もっとたくさんの人に、セコという考え方をエコ(eco)変えてもらいたいと思い、この川柳を考えました。

# 自然の木 植えて守ろう 木のために

神奈川県逗子市 小学5年  
フロスト 芽衣

《作品について》

酸素を排出してくれる木が、どんどん減っていて、その木を植えて大切に守って、環境を良くしたいという思いから、書きました。

# 街のゴミ 拾って目指す 青い海

埼玉県ふじみ野市 25 歳  
平識 裕都

## 《作品について》

池袋のラブオーシャンに参加した際に、初めて街から出るゴミがめぐりめぐって海に流れつく事を認識しました。海のゴミは海で捨てられたものと先入観がありましたが、その認識が改められるクリーンイベントだったと感じています。都内のゴミを拾うことでその周辺の海はもちろんのこと、私の出身地である沖縄県の海もキレイになるればいいなという思いと海のゴミは海からだけじゃないことを知ってもらいたくこの川柳を作りました。

# お出かけに いつもバックに ECO バック

神奈川県逗子市 54 歳  
穂坂 さおり

《作品について》

最近コンパクトな ECO バックを見つけたので、買い物時にビニール袋を買わなくなったなーと思うので。

# フードロス 学び実践 てまえどり

岐阜県加茂郡八百津町 56 歳  
細江 隆一

《作品について》

子ども達と実践中です。

# 空の青 海の青さを つぐ未来

千葉県松戸市 52 歳  
堀 卓

《作品について》

たしかな地球環境を、未来の子どもたちにも！

# 水と空 大切にしよう 次の世代

神奈川県藤沢市 小学5年  
堀 羽澄

《作品について》

自然を大切にし、次の世代に地球を紡ぎたいという想いで作りました。

# 外周時

## いつまで帽子

## かぶるのか

神奈川県逗子市 48 歳

堀江 彩奈

《作品について》

マンションの周りを点検に行く際、今年から帽子が許可されました。しかし、いつまでたっても帽子を脱ぐことができません。一体いつまで暑いのか。そんな気持ちをこめた川柳です。

# 耳澄ませ

## 自然の悲鳴

## 温暖化

神奈川県横須賀市 49 歳

堀江 真奈美

### 《作品について》

自然は声は出さないけれど、日々サインは送っていると思います。異常気象がそのよい例です。異常な暑さ、異常な降水それに伴う災害。これらはみんな自然からの悲鳴です。異常が平均にならないうちに皆で知恵を出し合い、解決していきましょう。

# 教育は 世で生きていく 術である

神奈川県横須賀市 小学6年  
堀江 美帆

## 《作品について》

人を助けるには、分け与えることも大事ですが、生きていく方法を教えるのが最も重要だと思います。物はなくなればそれで終わりですが、生きていく方法さえ知っていれば、自分自身で生活していけます。そのためには子どもの時から質の良い教育を受けさせて行くことが大事だと思います。

# 泥水を 飲むしかない 人がいる

神奈川県横須賀市 小学6年  
堀江 美羽

## 《作品について》

世界の約200の国の中でも、水道水を直接飲める国は、日本を含めて約10カ国しかないことを知りました。歯磨きなどで何気なく水を出しておくなど、泥水を飲料水としなければならない人たちを考えると、とても恥ずかしい気持ちになりました。世界中の人たちがいつでも安心して、水を飲める環境にしたいです。

# 怪我をした 背骨も心も 不安定

神奈川県横須賀市 30 歳  
堀越 光留

## 《作品について》

5 月に背骨を骨折する大怪我を患いました。無事に復職出来ましたが、休職中は患部だけではなく精神力を正常に保つのも大変でした。危険を伴う仕事も多いですが、全ての人が健康で安全に働ける社会になってほしいです。